

あまぎの子

『天城学区コミュニティ協議会にむけて』

天城学区コミュニティ協議会

会長 兼堀 文男

[発行]
青少年を育てる会
天城小支部
[編集]
家庭教育部

平成七年の阪神淡路大震災、および、その後におきたいくつかの大きな震災で、直後倒壊した家屋、瓦礫の中へ声をかけ安否を確かめ、救助の手をさしのべたのは、ごく近隣のおなじ被害を受けていた住民たちだったそうです。災害救助の公式記録に残っている公的機関の救助活動はその後だった。つまり、「回」の「三軒両隣」という意識がこういう非常事態にも働いたということだと思います。

近年、「回」の「三軒両隣」で構成されている町内会・自治会に役員の高齢化、高齢者や共働き家族の増加等世帯構成の変化がおき「両隣」精神が希薄になってきているといわれています。しかし、天城学区の町内会・自治会には、世帯構成の変化による運営の仕方はかわっても、助け合いの精神はしっかりと生き続いていると思います。

以上のことをふまえて、天城学区「コミュニティ協議会」では、これまで通り学区内の各種団体や町内会・自治会をさまざまな活動を支援し、連携を密にしていくことはもちろんですが、さらに「安全安心の町づくり」を「われからの活動の重点」にあげ、天城学区内のすべての人が安心して住める福祉社会の確立をめざして取り組んでいくこととしているのです。今後とも学区内皆様の「理解」「協力」をよろしくお願い申し上げます。



地域の中で 思いやりの輪を 広げよう

★★地域の子どもは地域のみんで育てよう・休校日！！★★

自分たちのまち 史跡をたどる！！



開会式の様子



スタートの一場面



ウォークの様子



温かいうどん サービス



優勝 おめでとう!!

『ふれあいウォークラリー大会を終えて』

青少年を育てる会 天城支部

顧問 中島 民男

青少年の健全育成は「家族のふれあい」と「自分たちの住む地域を知ろう」をテーマに、史跡めぐりウォークラリーを続けてきました。今まで、秋の学区民ふれあい大会で行なっていたまいりましたが、過去二年間にわたり雨天中止という残念な結果となってしまいました。この事からこの度は単独での実施を判断しましたが、単独行事として成り立つのか？寒い時期で問題はないのか？様々な思いの中で、地域の皆様が楽しんで参加できる機会を作りたいという一心で一月十八日当日を迎えました。結果は、二十組六十名の参加で活気あるラリーになった事を嬉しく思いました。

六キロメートル約二時間のコースの中にはクイズや観察ポイントが隠されていて問題を解きながらゴールを目指します。そして何より嬉しいのが小中学校のPTAの方々の作ってくれた温かいうどんです。たった二時間の中ですが心も体も温かく優しい気持ちになれたようでした。

又、閉会式では頑張った方々に賞品も頂きました！
今後はコースを増やし数年かけて全地域を回る等、試行錯誤しながらより良いものにしてゆくと考
える事、家族で語りあえる事を大切に
行事活動に取り組みたいと思います。
来年はもっと多くの皆様と歩ける
ことを楽しみにしています。



青少年を育てる会 天城支部ホームページを作りました。

<http://sodateru-amaki.blog.so-net.ne.jp/>